



地域連携センターが発行しているニューズレター、前刊に続き、6月に札幌大学みらい共創スクエアを会場に開催した「まちづくりフェスタ」の様子をキャリアデザインラボ（CDL）に所属する経営学専攻2年の山館奈央子さんと甚野菜緒さんがレポートしてくれました。



## むかわ町がサツダイにやってくる！

人と自然が輝く清流と健康のまち **むかわ町**



**む**かわ町は北海道の南北にある胆振管内に位置します。山・川・海に囲まれた細長い地形をしたまちです。また、新千歳空港のある千歳市やフェリーターミナルがある苫小牧市から車で40分程、札幌市からも約90分とアクセスも抜群です。特産の「鵜川ししゃも」や「ほべつメロン」の生産地としても知られ、美食の町でもあります。2003年には、全長8mと推定される国内最大の恐竜全身骨格化石「カムイサウルス・ジャポニクス(通称:むかわ竜)」が発掘され、注目を集めています。自然環境に恵まれたむかわ町では多くの貴重な海と陸の古生物化石が発掘され、町中には化石や恐竜をモチーフにした、たくさんの恐竜スポットが点在し、訪れる人の目を楽しませています。

むかわ町HP



<サポート学生>

経済学専攻3年 奥山 奨太  
経済学専攻3年 小野 立陽  
経済学専攻3年 山田 時斗  
経済学専攻3年 吉田 佳穂  
英語専攻2年 小原 圭乃

むかわ町公認キャラクター「むかろん」がサツダイにやってきました！

顔は穂別メロン、頭にはクビナガリュウ、レタスのバッグにはししゃもが入っているたんぼぼがプリントされているシャツがお気に入り！



**む**かわ町と北海道鵜川高等学校及び本学は令和4年3月に包括連携協定を締結し、鵜川高校の探究型学習「むかわ学」のサポートやむかわ町が実施するイベントでのボランティア活動など取組を進めています。本イベントでのブース出展に際し、むかわ町役場とむかわ町で営業されているたいやきの店いっぷく堂さんに協力いただき、チラシ・パンフレット・ポスターによるむかわ町のPR活動と「恐竜たい焼き(あんこ・クリーム)」の販売を行いました。ブースの運営は、令和4年度ムカワカレッジに参加した学生やさっぽろ雪まつりでむかわ町特設ブースのボランティアに参加した学生らが担当しました。当日は、恐竜たい焼きを買い求めて、待ちわびた人たちが途切れることなく訪れていました。むかわ町からは、「本イベントを通して、むかわ町のPRに繋がるとともに多くの大学生と交流することができました」との感想をいただきました。



令和4年度ムカワカレッジ(むかわ町地域おこし協力隊インターン)に参加した学生がいっぷく堂さんに直接、交渉を行い、今回の出店が決まりました。また、サポート学生たちは当日の円滑な運営に向け、店主の工藤さんから事前に生地や商品の説明方についてレクチャーを受けました。ご協力いただきたいっぷく堂さん、ありがとうございました！



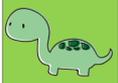
たいやきの店いっぷく堂

恐竜の形をした「恐竜たい焼き」を460個販売しました！



### サポート学生より

事前準備では生地づくり方を教えていただき、当日の流れについても確認を行いました。その結果、スムーズに営業を行うことができました。当日は想像以上の来客数があり、忙しくなる場面もありましたが、皆様のご協力もあり、無事に終わることができました。地元の特徴に合った商品を販売することは、地元のPRをするということに加え、地域に貢献するという面でもよい事だと思いました。いっぷく堂店主の工藤さんはTシャツでも宣伝をされており、地元の事を愛してやまないのだと思いました。ボランティア学生も地元を愛してPRできればと思える経験をさせていただきました。また、機会があれば参加したいと思います。



# 恐竜を探せ！～君がダイナソーハンター～

**本**コンテンツはむかわ町の持つAR技術(目の前にある風景にバーチャルの情報を重ねて表示することで仮想的風景が体験できるもの)を使い、学内各所で恐竜を見られる学内探索型プログラムです。新校舎である8号館を中心に、6号館やSwingに4種類の恐竜(カムイサウルス、ティラノサウルス、ホバツアラキリュウ、フォスフォロサウルス)のQRコードを設置し、参加者が持参したスマートフォンやタブレット端末でQRコードを読み込むと恐竜と一緒に写真を撮影することができるものです。4種類の恐竜と写真を撮影したコンプリート先着者30名にはむかわ町ブースで販売する恐竜たい焼きをプレゼントする特典を用意しました。また、むかわ町に提供いただき、巡回するスタッフに声をかけるとチェンジングカード(見る角度によって絵柄が変わるカード)がもらえる特典も用意しました。開始早々に特典がなくなるほどの大盛況なコンテンツとなりました！



## STEP 1 準備編

迷子防止対策として、要所に設置した看板や恐竜の足跡は参加者の皆さんに楽しんでいただくため、学生たちが知恵を出し合いながら工夫して準備を進めたものです。また、参加者に配布する構内MAPには、恐竜の説明を加え、家に帰った後もお楽しみいただけるよう工夫しました。その他、QRコードの読み込み確認やエラー時の対応などについても学生同士で準備を進めました。

↓ 恐竜の足跡を製作する様子 ↓



↓ 看板を製作する様子 ↓



← 恐竜の足跡を設置する様子

## STEP 2 当日編

当日は「受付担当」と「巡回担当」に分かれ、お互いに連携を取りながら業務にあたりました。「受付担当」は、構内Mapを見せながらルート・注意事項の確認を行った後、参加者には構内Mapを首からかけてもらいスタートするまでをサポートしました。「巡回担当」は、参加者にチェンジングカードの配布や迷子の保護、エラー時の対応など、現場サポートをしました。

### <サポート学生(受付)>

- ロシア語専攻2年 吉田 大朗
- 経済学専攻3年 鈴木 大晴
- 経済学専攻2年 蛭名 舜
- 経済学専攻3年 小野 立陽
- 経済学専攻3年 西山 清崇
- 経済学専攻3年 山田 時斗
- 英語専攻1年 富田 里佳

### ↓ QRコードを読み取ると恐竜が出現！ ↓



### ↓ 構内MAPを見ながら学内を探検しよう ↓



### ↓ 学内に出現！カムイサウルス ↓



### <サポート学生(巡回)>

- 法学専攻2年 岩田 英太郎
- 経営学専攻2年 山舘 奈央子
- 英語専攻2年 小原 圭乃
- 経済学専攻3年 西山 清崇



恐竜AR受付では、スタート・ゴール地点のルート確認からAR恐竜を撮影するまでの手順を、受付メンバー同士連携を取りながら参加者の皆さんに説明・確認をすることができたと思います。AR恐竜と撮影した写真を確認した際、ご家族で楽しんでいる様子を見ることができて、とても嬉しい気持ちになりました。また巡回では、恐竜ARのルートを巡回しながら、イベントを楽しむ子どもたちの笑顔を見て、とてもやりがいを感じました。ARのエラー対処といった対応は臨機応変なコミュニケーション能力を養えたと思います。

